

1954年

11月10日

印刷發行

Published

Nov. 1954

情報 二第 9 号二

INEORMATION BULLETIN

NO. 9

八重山群島概況

SUMMARY DESCRIPTION OF YAEYAMA GUNTO

1953年度

1953 Year

八重山地方庁編集

Compiled by The Yaeyama District Office

琉球政府行政主席官房情報課發行

Published by the Public Information Section, GRI

Conuersion Table

YEN (円)	=	BYEN	120 YEN = 1 \$
1 go (合)	=	0,18	Litre
1 SHO (升)	=	1,80	Litre
1 TO (斗)	=	18,0	Litre
1 KOKU (石)	=	180	Litre
1 TSUBO (坪)	=	0,0003 are	1 are = 30,25 TSUBO
1 SE (畝)	=	0,99	are
1 TAN (反)	=	9,91	are
1 CHO (町)	=	99,1	are
1 KIN (斤)	=	600	gramme
1 KAN (貫)	=	3,75	Kelogramme

— 目 次 —

第 1	位 置	面 積	
第 2	氣 候		
第 3	戸 口		
第 4	産 業		
	1. 農 業	2. 蚕 糸 業	3. 畜 産 業
	4. 林 業	5. 水 産 業	6. 商 工 業
	7. 鑛 業	8. 協 同 組 合	
第 5	八 重 山 の 開 拓		
	1. 戦 前 に お け る 八 重 山 開 拓		
	2. 戦 後 に お け る 八 重 山 開 拓		
	3. 八 重 山 開 拓 と マ ラ リ ア		
第 6	運 輸		
	1. 海 運		
	2. 陸 運		
第 7	貿 易		
第 8	市 町 村 概 況		

(1)

第 1 位 置 ・ 面 積

八重山群島は東経124度20分、北緯25度52分より東経122度56分、北緯24度3分に亘る間に散在する大小19の高嶼よりなっている。

是等各島の面積は第一表の通りである。

(第 1 表) 島 嶼 の 面 積

石 垣 島	258.34平方杆	内 離 島	2.47平方杆
西 表 島	270.87	外 離 島	1.39
与 那 国 島	25.24	中 御 神 島	0.15
波 照 間 島	14.96	嘉 彌 真 島	0.46
黒 島	13.73	魚 釣 島	
竹 富 島	6.32	久 場 島	
小 濱 島	10.49	北 小 島	
新 城 島	2.00	南 小 島	
上 地	1.85	大 正 島	
下 地	1.85		
鳩 間 島	1.08		

第 2 氣 候

八重山群島の氣候は亞熱帯海洋氣候で氣温は高く暑氣の期間は長い、又晝夜四季寒暖の差は少く盛夏の最高氣温は35度を越えること少く最低温度は8度以下に降ることは少い、温度、降水量多く、風は強く特に夏季颱風の襲來を以て知られている。過去52年間に於ける八重山の氣候概要は第2表のとおりであり、過去52年間における台風状況は第3表、第4表で過去5.6年間の量別月降水回数は第5表のとおりである。

第16表

民有林野造林補助

市町名	公私有別	面積	数量	金額	摘要
石垣市	公有	47.83	63,580本 14升	86,570,00	52,03 ha 74,580本 14升 (松及ヤラボ種子)
	私有	4.20	11,000本 100升	23,211,00	
大濱町	公有	20.20	2,500本 858.5升	16,391,00	
竹富町	私有	5.85	14,600本 660升	10,059,00	
与那国町	私有	13.09	13,740本 953.9升	23,992,00	
計		91.17	105,420本 2,586升	160,230,00	

第17表

保安林造成 (公有保安林)

市町別	種別	潮害防ビ林	風害防ビ林	数量	金額	摘要
竹富町字竹富		1.00ha		3,000本	1,950,00	補植
大濱町字大浜		2.00		6,000本	8,450,00	木麻黄、相思樹 アダンを含む
全字白保		1.00		3,000本	4,250,00	全上
全字平得			0.50ha	1,300本	2,200,00	補植、相思樹
計		4.00ha	0.50ha	13,300本	16,850,00	

⑤ 水産業

八重山は四面海にかこまれ近海に好魚場を有し特に南洋漁場の進出基地として優位の位置にある。

本群島水産の現況は沿岸漁業、近海漁業、遠洋漁業に就業し沿岸漁業は採草、採貝、一本釣、ほこ突、建干網、追込網を操業するくり舟漁業であり、近海漁業は近海に散在する曾根で一本釣、回遊漁目当の鰹柔魚、飛魚、突棒、まぐろ延縄を操業し、遠洋漁業は遠く南方漁場の新南群島、パラセル諸島、東沙島に出漁して海人草、貝殻類を採取し八重山の主要貿易品として経済を助長せしめている

1954年8月1日現在における動力漁船業態別隻数無動力漁船隻数及び1954年における輸出水産物統計は第18表から第20表のとおりである。

第18表

動力漁船業態別隻数

(1954年8月1日現在)

市町別	鰹釣漁業	採貝採藻漁業	突棒漁業	さんご漁業	雑漁業	上架船
石垣市	10	16		1	4	6
竹富町	11					
与那国町	7		19	2		
計	28	16	19	3	4	6

第19表

無動力漁船五噸未満 (くり舟含む) (1954年8月1日現在)

市町別	隻数	備考
石垣市	247	
竹富町	48	
大浜町	20	
与那国町	31	
計	346	

第20表

輸出水産物統計

(自 1954年1月1日
至 1954年7月31日)

種類	数量(封度)	備考
鯉節	14,330	
高セ貝	497,100	
廣セ貝	298,100	
玉貝	12,500	
夜光貝	29,500	
黒蝶貝	5,500	
海人草	78,900	
計	935,930	

(17)

⑥ 商工業

戦前殷賑を極めていた商工業は戦時中の統制圧迫と戦禍により極度に疲弊したが終戦後はその復興よりも食糧問題が先決であつたので政府当局も住民も一体となつて食糧増産に主力を注いだため商工業は立ちおくれの状態にあつた。

然しながら近年輸入食糧の確保と順調な配給によつて食生活も安定し現今商工業も戦前を凌駕する程に著しく殷賑を極めるようになった。

八重山における商工業の中心は石垣市でありその分布状態は第21表から第23表に示す通りである。

第21表

市町別商業々態別調

(1953年9月30日現在)

業態別	石垣市	大浜町	竹富町	与那国町	合計
商品販賣業	297	47	42	25	411
雑貨行商	9	1	12	4	26
賣業	7	1		5	13
貿易業	21		1	1	23
食肉販賣業	42			9	51
料理屋業	28	2	2		32
飲食店業	41	4	2	1	48
鮮魚販賣業	41			20	61
材木販賣業	4				4
その他	36		1		37
合計	526	55	60	65	706

業態別	石垣市		大浜町		竹富町		与那国町		合計	
	件数	従業員数	件数	従業員数	件数	従業員数	件数	従業員数	件数	従業員数
鉄工業	9	45					1	4	10	49
製材業	11	61							11	61
造船業	9	58					1	1	10	59
経節製造業	9	194			11	213	5	42	25	449
酒造業	15	42	5	10	10	47	4	27	34	126
精米製粉業	17	46	3	7	3	6	9	16	32	75
鍛冶業	8	19	2	4	1	2	2	4	13	29
製糖業	1	3	4	20	4	23	1	3	10	49
製菓業	43	53	1	1	4	4	2	2	50	60
農産加工業	4	16	2	10			1	1	7	27
味噌醤油業	6	9							6	9
製塩業	5	11			18	18	1	1	24	30
指物業	10	32							10	32
荷馬車製作業	4	15							4	15

畳製作業	6	12					1	1	7	13
瓦製造業	2	10	3	19	1	3	2	7	8	39
石灰製造業	6	9	1	2	1	3	2	6	10	20
履物製作業	7	11	2	3					9	14
染料製造業	1	1							1	1
線香製造業	1	1							1	1
製氷業	1	6							1	6
ブロック製造業	5	10							5	10
たわし製造業	1	1							1	1
挽物業	2	2							2	2
竹加工業	4	4							4	4
木炭製造業					7	7			7	7
鉦業			1	20					1	20
合計	187	671	24	96	60	326	32	115	303	1,208

第 7 貿 易

石垣港は八重山群島唯一の開港場に指定されている上に為替銀行として琉球銀行支店があるに拘らず税関がないため実質的には貿易港としての真價を發揮していない。

近く税関支所も設置されるといわれているので之が設置の暁は従来那覇港を中継としていた積卸し諸手續その他の不便利益が直送によつて除去されて輸出品は現在より増加するものと大いに期待されている。

因に過去二ケ年の輸出統計からみると1952年の輸出品は殆んど海産物で占めているが1953年に至り漸く陸上産物として黒糖が進出していることは注目され次いでパイン罐詰、真珠、香皮、八重山上布が加わつてをり、陸上産物は遂次増加の見込で貿易は進展の途上にある。

尙輸出産物として取引可能で有望なものにハツカ油、苧麻、カツチ、塩辛等があり盛んに引合がなされている。因に石垣港に於ける1952、53年度の出入船舶の発着貨物量客数並に過去2ケ年の輸移出統計は第36表から第38表の通りである。

尙1953年度の八重山における輸出入及その他の收支のバランスを琉銀支店及郵便局の取扱受拂統計表から見ると拂出額（輸入品代金及貿易外支出その他） $\yen 200,233,421,90$ に對し受入額（輸出品代金及貿易外收入その他）は $\yen 201,959,869,79$ でそのバランスは僅かに $\yen 1,726,447,89$ のプラスで八重山の經濟を支えている。

(36)

第36表

1952、3年石垣港出入船舶貨客調

郡 外 間 (宮 古、沖 繩)

年 別	入 港			出 港			
	区 分	隻 数	乗 客 数	貨 物 数	隻 数	乗 客 数	貨 物 数
1952		704 隻	8,418 人	5,418 屯	688 隻	9,513 人	3,944 屯
1日平均		1,9	23	15	1,8	26	11
1953		501	9,939	10,159	319	7,780	4,545
1日平均		1,4	27	28	0,9	21	12

郡 内 間 (各 離 島)

年 別	入 港			出 港			
	区 分	隻 数	乗 客 数	貨 物 数	隻 数	乗 客 数	貨 物 数
1952		1,935 隻	21,375 人	2,204 屯	1,947 隻	18,071 人	1,802 屯
1日平均		5,3	59	6	5,3	50	4,9
1953		2,983	28,458	6,414	2,233	16,960	1,919
1日平均		8,2	78	18	6,1	46	5,3

(1952)

品名	單位	數量	金額	數量	金額
A、海産物					
鯉節	斤	604,263	¥ 54,383,670,00	518,522	¥ 51,852,200,00
貝殼	〃	460,544	7,381,536,00	523,799	17,751,834,70
海人草	〃	100,923	4,677,114,00	187,510	11,387,449,00
鮮魚	〃	239,220	4,784,400,00	621,600	7,762,500,00
角又	〃	231,810	1,750,766,40	162,170	2,214,897,00
珊瑚	貫			46	1,182,310,00
真珠	個			1,894	200,006,20
海苔	斤			7,975	100,800,00
觀賞用貝殼	個			24,492	96,233,20
ふかひれ	斤			750	90,000,00
えらぶうなぎ	〃			525	42,000,00
塩辛	瓶			1,176	26,106,00
小計			¥ 72,977,486,40		¥ 92,706,336,10

(38)

B、農産物

白米	袋	10,865	21,730,000,00	10,796	20,296,480,00
黒糖	斤	284,634	4,127,215,20	717,950	8,545,760,50
落花生	〃	23,215	431,799,00	63,723	1,282,039,00
パイン罐詰	LB	16,000	329,500,00	70,704	1,046,419,20
バナナ	斤	108,490	1,410,370,00	82,564	825,640,00
豆類	〃	22,910	453,618,00	15,360	303,360,00
パイン青果	〃	3,538	53,070,00	11,222	112,220,00
繩	束	1,160	46,400,00	1,923	67,305,00
芋麻	斤			945	66,150,00
こも	束	3,788	757,600,00	5,786	1,157,200,00
ごま	斤	23,215	325,010,00	3,000	53,100,00
落花生罐	罐	130	3,420,00	3,000	53,000,00
生姜	斤	843	25,290,00	685	31,440,00
蔬菜類	〃			3,954	30,695,00
いも類	〃			2,700	13,500,00
食用油	〃	1,220	53,680,00		
糠	〃	5,780	28,900,00		
小計			¥ 29,775,872,20		¥ 33,884,308,70

SUMMARY DESCRIPTION OF YAEYAMA GUNTO

(As of September 1953)

Compiled by
The Yaeyama District Office

Published by
The Public Information Section
Chief Executive's Secretariat
Government of the Ryukyu Islands

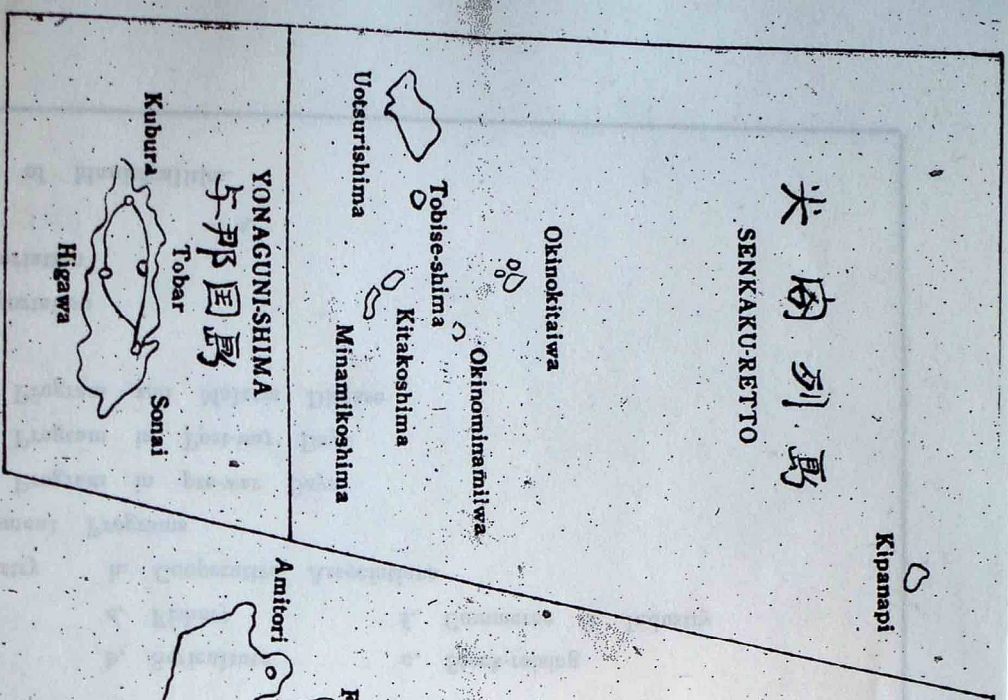
Contents

1. Location and Dimensions
2. Climate
3. Population
4. Industries
 - a. Agriculture
 - b. Sericulture
 - c. Stock-raising
 - d. Forestry
 - e. Fishery
 - f. Commerce & Industry
 - g. Mining Industry
 - h. Cooperative Associations
5. Yaeyama Development Programs
 - a. Development Program in pre-war Days
 - b. Development Program in Post-war Days
 - c. Development Program and Malaria Disease
6. Transportation
 - a. Water Transportation
 - b. Land Transportation
7. Trade
8. General Situation of Municipalities.

尖閣列島

SENKAKU-RETTO

Kipanapi



MAP OF YAEYAMA GUNTO
八重山群島全圖

